

# ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト



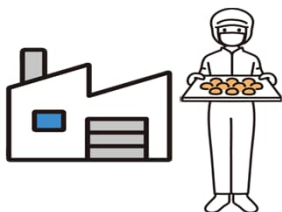
～安心して長生きできる 健康的で持続可能な社会～

年齢、性別、経済状況、健康関心度等にかかわらず、誰もが自然に健康的な食品に手が伸び、健康が身近である社会をつくることにより、健康寿命(平均自立期間)が延伸することを目標に活動します。

## 産学官と消費者(県民)による協働

### 兵庫県の健康課題

減塩 フレイル予防 栄養バランス 若い女性のやせ



食品製造・配食事業者

開発

塩分控えめ加工食品、たんぱく質が十分にとれる惣菜・栄養バランスを配慮した弁当等



流通事業者

販促

商品パッケージ・ポップによる訴求、従来品と同等価格の設定等



消費者

活用

理念を受け取る商品やサービスを、総合的に評価する取組みに対する興味関心の芽生え

主体的で豊かな食・健康につながる情報共有

学識・関係団体・県

プロジェクトの推進を支援



客観的な視点から信頼性のある情報を生活者へ発信、多面的な情報を各方面の事業者へ紹介等



健康的な食品に手が伸び意識なくとも健康に

|      |   | 現状     | 目標     |
|------|---|--------|--------|
| 健康寿命 | 男 | 80.41歳 | 81.16歳 |
|      | 女 | 84.93歳 | 85.68歳 |

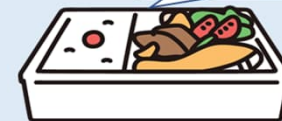
メディア



## 事業者の多面的な活動

各社が策定した行動目標に沿って推進

知らずに控えめ塩分-1g



イベントの企画・実施  
(事業者マッチング、県民向けイベント、実証事業)

たんぱくしっかりキャンペーン



たんぱく30g  
たんぱく20g  
たんぱく10g

交流会・勉強会の開催  
(ESG、健康、SDGs等)

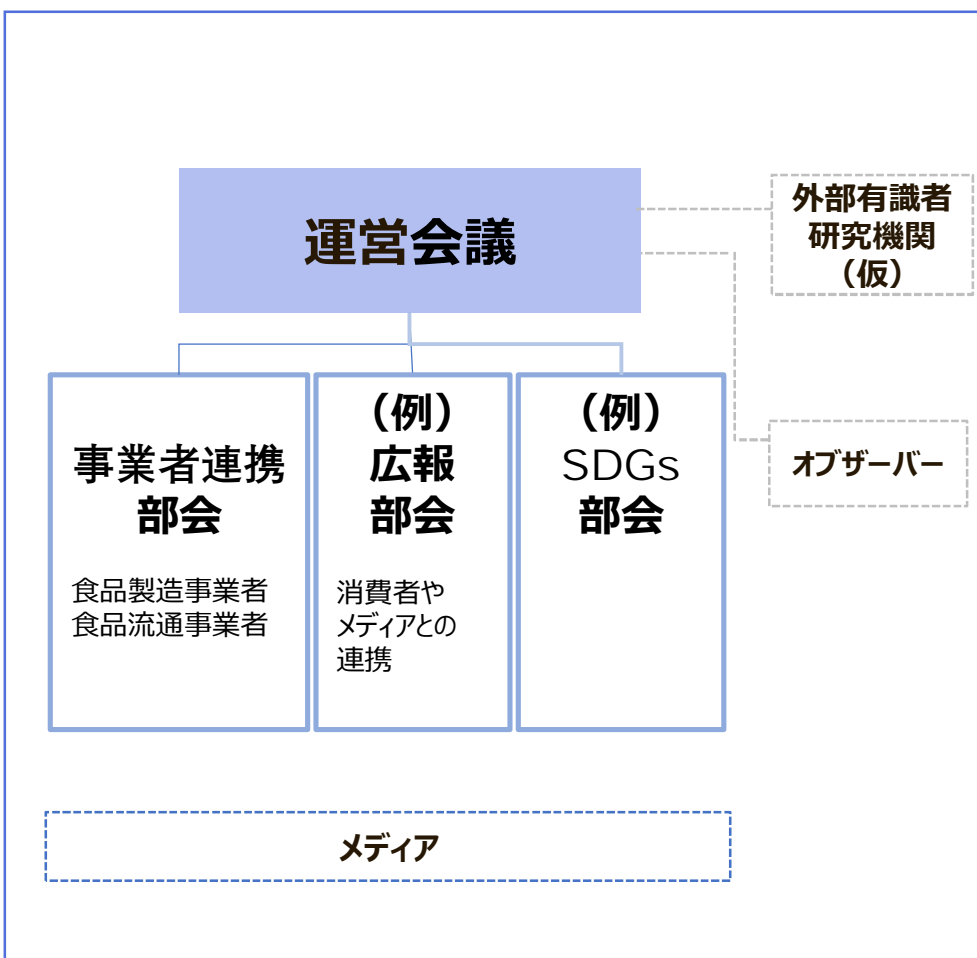
登録事業者限定セミナー



異業種と交流

# プロジェクトの組織図

## 運営体制



| 組織                 | 主な取組内容 (案)   | 開催頻度   |
|--------------------|--|--------|
| 運営会議               | <ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクト規約の策定</li><li>プロジェクト目標の設定と評価</li><li>活動計画の検討</li><li>各種行事の決定</li></ul> | 2回/年   |
| 事業者連携部会<br>(意見交換会) | <ul style="list-style-type: none"><li>事業者連携の推進のための、イベント等の企画・開催</li></ul>   | 2回/年   |
| (例) 広報部会           | <ul style="list-style-type: none"><li>消費者向け情報発信など、広報活動の企画・開催</li></ul>   | 1~2回/年 |
| (例) SDGs部会         | <ul style="list-style-type: none"><li>SDGs等活動テーマ推進に向けた勉強会の企画・開催</li></ul>  | 1~2回/年 |

# 活動テーマの背景

## 食塩の過剰摂取

- 兵庫県民の食塩摂取量は9.8gで**目標値を3g上回る**
- 食塩の過剰摂取は、高血圧、動脈硬化、脳血管疾患等の進行につながるため適塩が推奨されている

## 高齢者の低栄養


- 心身の活力が低下し、要介護状態、死亡等の危険性が高くなった状態であるフレイルの予防が重要。**フレイル予防には栄養、運動、社会参加が鍵**となる
- 兵庫県の**低栄養傾向(BMI20以下)高齢者は18.4%**で全国値を上回る

## 若い女性のやせ、偏った栄養バランス

- 低出生体重児が生まれる率が高くなる**若年女性のやせは22.7%**で全国値を上回っている
- 偏った食事をしているものは62.5%、**食習慣改善の意欲がないものは約40%**

## 理念

わたしたちは年齢、性別、経済状況などに関わらず一人ひとりの個性が大切にされ、誰もが**“安心して長生きできる健康的で持続可能な社会”**をめざします。



健康である  
ことが  
価値になる